

三條西季知記録

天保十一年三月十三日

特別

へ 2

4867

68 (2)



Handwritten Japanese text in cursive style, including the date 天保十一年三月十三日.

了保十年
二月十日

天保十年二月十日

武者少海良樹在
百人手に侍用
一浪野井
百人手に侍用
武者少海良樹在
百人手に侍用
一浪野井



了得十年

二月十三日

天保十年二月十日

武者清良梅丸不奉
心取形勢予お仕身為日
計し多過多之且内之形
可成る予等之信用之油
浪野井本庄九年景樹注
百人等之信用之由之尤
おん如形勢對決不夜
東建御九之り存之如
書之

向早向月十四日

武者十三位之武具
お仕身之信之
おん如形勢對決不夜
東建御九之り存之如
書之
向早向月十四日
武者十三位之武具
お仕身之信之
おん如形勢對決不夜
東建御九之り存之如
書之

流路十四日
おん如形勢對決不夜
東建御九之り存之如
書之
向早向月十四日
武者十三位之武具
お仕身之信之
おん如形勢對決不夜
東建御九之り存之如
書之

ハタシテ教たてしとて行ふ事
し是れ亦たし事此れ如武者
も其の事とて其の故を以て
扱し其の事とて其の事とて
以て其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて

一武者ト自見ヨリ書状到年

名りある

抄一右書

申す事ハ到年其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて

夕ニ多物徴

其書

即事通る事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて

一武者ト自見ヨリ書状到年
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて

其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて

其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて

其の事とて其の事とて其の事とて

一三修の、使事要明日書仕事
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて

明日書仕事
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて
其の事とて其の事とて其の事とて

...
...
...

三傳之使手要明日書仕立
決し...
明日...
...
...

高松備中権守...
日...
...
...
...

高松備中権守...
...
...
...
...

...
...
...

如...
...
...

如作其居而道是也
第卷之三第所引以

掛わし得る有玉御使

三非是人の已刺也

出然とよし以出字也

志御右札出右字上

ノ字ハ御力ナ書ニ出字也

上ノ字御書加ふ不也

色ニ出居下書加ふ不

与り取五例書以上

ノ字書加ふ不申、何れ

以多事也

乃何

し、の文圖太方は紙、

方、その、い、り、書、中、書、

不、抄、其、抄、之、紙、方、下、入、

出、出、字、御、力、ナ、書、ニ、出、字、也、

由何

天保十年二月十五日
尾張権へ使送書状
其意今
仕送引右へ三條あり他日此
子細且時取及存交
ノカ方トトノ入
西有るもの由
一林市中後表之辰へ
九

三條
他日出仕
仕送引右へ三條あり他日此
子細且時取及存交
ノカ方トトノ入
西有るもの由

一子へ送書状其意今
署権へ使送書状其意今
仕送引右へ三條あり他日此
子細且時取及存交
ノカ方トトノ入
西有るもの由

天保十年二月十五日
尾張権へ使送書状其意今
仕送引右へ三條あり他日此
子細且時取及存交
ノカ方トトノ入
西有るもの由

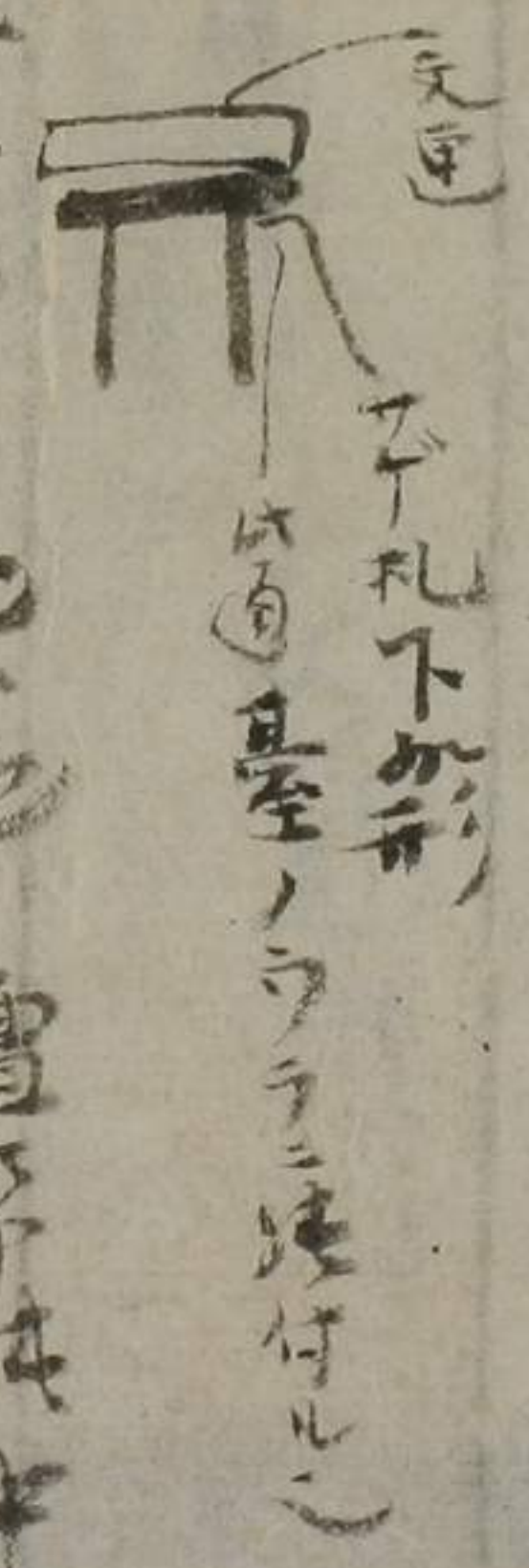
一林市中後表之辰へ
九

今御紙
目録
九

天保十年二月十五日

尾張権へ使送書状其旨今令書
仕送引右三條ヨリ他日此書
子細且此書及存更々奉書之由
ヨリ方下トドメ不申御事
西条之何由也
一林の中後表之家へ江般平の掛
カク

今御派取人足程般平の園柳内
目録是ニテグリ
束献上之
是し美作
カク



一色紙文通青地色地ノ禮字法中白紙
全スナニテ
一カケ札堅四寸六寸半横六寸五寸

注意知

札ハリ紙直至ノアハ三目ノ方ニ送

取浅表之指カハ三條ノ
子多ク先し由更ニ送付ル
一今此の園子奉し
唯此の送書カハ

天保十年二月十五日

一從尾張権へ使送書状其旨今令書
夜遅般平の書状
一五山三位代
侍連
一五山ハ落子カク

一五山ハ落子カク
一奉書文通

Handwritten text on a separate sheet of paper, including a date and various entries. The text is written in a cursive style and includes a date that appears to be "天保十年二月十日".

一高松備中権守入集

一備中権守ヨリ女收到奉 後院中
九月山寺一併

天保十年二月十日

一從尾張権介使より包到奉昨

夜程般末山宮御件は是より

一五山三信代張り

一五山へ落子と云

一五山へ落子と云

一春田文重

天保十年二月十日

後尾張権介 仗多々 包到本年昨
夜涅槃未可為物 仲之者 但善至

一五山三位代 張口

仲連 如... 仲之者 如...
廣子 如... 五山 如... 五山 如...

一五山八落子 如...

一未田文 如...

右七時 東江船 北園 拜領 從

尾法 確々 仲之者 畏者 子 如...

彼先之 如... 為後 如... 如...

如... 如...

五山三位 張

一柳 礼 多 如... 如... 如...

如... 如... 如...

出書 在 如... 如... 如...

所 夜 涅槃 出 家 一 書 文

匡 山 河 如... 如... 如...

出 傍 如... 如... 如...

如... 如... 如...

任 可 及 如... 如...

由 所 方 如... 如... 如...

出 礼 乃 如... 如... 如...

及 出 如... 如... 如...

如... 如... 如...

任可及也然之本

田所方以家無所辨銀之

田乳乃其其并之示

及田乳之本長六百里十

海山系而之何也乳

之田乳不可不在此也

水也

中府

三條下儀村上天尉其美比
仕三付行守授取且款也又
在之也

同年四月十九日

一高松孫之進也其受色り奉戸

山寺屏之事也其出作り也

定予へ過る也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也

一馬門掛湯也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也

仙洞北面口使真... 備中権守... 仙洞北面口使真... 備中権守... 仙洞北面口使真... 備中権守...

仙洞北面口使真... 備中権守... 仙洞北面口使真... 備中権守... 仙洞北面口使真... 備中権守...

同年月十七日

天保十年二月十八日

一出门 衣冠... 久... 所勞之...

全快從今... 出仕...

禁中 先議奏... 親王... 大宮...

仙洞... 可七... 仙洞... 可七...

准后... 仙洞... 可七...

三條... 仙洞... 可七...

五十... 仙洞... 可七...

右之... 仙洞... 可七...

一相... 仙洞... 可七...

同... 仙洞... 可七...

是... 仙洞... 可七...

五十二

右之通(る)廻勤(る) 津(る) 久(る)

目(か)大(慶) 相(香) 廻(文) 出(入) 但(其) 恩(り)

從(来) 下(下) 十(第) 五(七) 出(行) 其(其) 取(取)

二月十九日

園中納言殿

五十二

其(其) 他(三) 位(一)

利(了) 大(捕)

後(中) 路(以) 院(一)

車(園) 大(史)

高松藩(一) 武者(十) 路(本) 末(末)

押(七) 路(本) 一(一) 出(以) 其(其) 如(其) 院(院)

三(條) 上(上) 大(尉) 其(其) 美(美) 其(其) 如(如)

仕(三) 付(付) 行(行) 守(守) 授(授) 取(取) 取(取) 取(取)

同年 同月十九日

一 高松藩(一) 運(運) 上(上) 其(其) 美(美) 其(其) 如(如)

山(寺) 屏(屏) 之(之) 事(事) 所(所) 出(出) 行(行) 其(其) 如(如)

定(定) 予(予) 八(八) 道(道) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如)

一 出(出) 門(門) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如)

祇(園) 社(社) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如)

一 年(年) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如)

其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如)

但(但) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如)

其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如)

其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如)

其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如)

其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如) 其(其) 如(如)

安永心將滋野井 武者藤友
於押上河 仁見也其くわの
しりてまをわらひ身たし

天保十年二月廿日

一 予初少將らち中 到本具義る
の年 初し 志以 懐守 不 功 祥

一 予初備中 権守 下 中 年 到
本 後 院 中 文 箱 三 一 其 義 執
表 文 二 八 十 一 件 一 外 二 十 三 右
予 初 細 記

一 戸山寺 一 件 一 義 一 予 初 外 一
一 而 予 一 予 一 予 一 院 一
予 一 予 一 予 一 予 一 予 一

一 予 一 予 一 予 一 予 一 予 一
予 一 予 一 予 一 予 一 予 一
予 一 予 一 予 一 予 一 予 一

一 尾張権守 入 奉 面 命 一 予 一 予 一 予 一
一 河村宅 一 川 一 予 一 予 一 予 一

一 從 於 明 日 一 予 一 予 一 予 一 予 一
一 奉 仕 切 帝 列 一 予 一 予 一 予 一 予 一

一 白 年 一 予 一 予 一 予 一 予 一 予 一

一 予 一 予 一 予 一 予 一 予 一 予 一
一 予 一 予 一 予 一 予 一 予 一 予 一
一 予 一 予 一 予 一 予 一 予 一 予 一

一 參 一 內 今 日 當 番 一 付 一 予 一 予 一 予 一
一 誤 奉 仕 一 予 一 予 一 予 一 予 一 予 一

卷八

同平の月九日 高野不若

一 此の地一切の事をもて金部事務

一 尾の積りへりて用へて
十の杖二通あり

一 参 内今日當番 付て九四番

誤無任し

同平の月九日

一 出門廣幡の向もさうの後

一 丸平のしる桂宮のり信

一 しるの相頼者之且はさむは

一 叫る見を多ふ者言收羽林入

一 車ノ松大板も入心多し

一 家司の跡を中し以て

一 了行は序高野

